

# MUTOH

証券コード 7999



# 第68期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



MUTOHホールディングス株式会社

## ■株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第68期報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長 早川 信正

## 基本方針

常に革新し  
挑戦を続け  
社会に貢献する

## ■事業の経過および成果のご説明

当連結会計年度における世界経済環境は、6月の英国のEU離脱決定や1月に誕生したトランプ新米大統領の保護主義政策による影響など不透明な要素はあるものの、欧米地域では、緩やかな拡大傾向で推移しました。一方、中国をはじめとするアジア新興国においては、上半期の景気減速から依然として不安定な状況にあります。

国内経済においては、企業の設備投資には足踏み傾向が見られますが、雇用情勢の改善傾向が継続し、消費者マインドの持ち直しなどにより緩やかな回復基調が続いています。

当社グループは、継続して将来的な収益力向上を目的に経営基盤の強化と製品開発を推進してまいりましたが、大判インクジェットプリンタ市場における大手メーカーの参入によって世界的に競争が激化し、製品価格が下落しました。また、為替の円高基調が当社グループの業績に影響を与えています。

このような状況の中、8月には情報画像関連機器事業における意思決定の迅速化、開発・生産・販売の一体化によるグローバル競争力の強化を目的として、海外販売子会社を開発・生産拠点である武藤工業株式会社の傘下といたしました。続けて、10月1日付で国内の営業効率と顧客サービスの向上、ならびに原価低減、経費削減を目的に子会社である株式会社ムトーエンジニアリングの3Dプリンタ事業、設計製図機器販売、計測・制御機器販売、CADソリューション等の事業を武藤工業株式会社に集約いたしました。これらの施策により、在庫の圧縮が進み、また合理化による経費削減等の効果が表れています。

主力製品である大判インクジェットプリンタにおいては、成長市場のインダストリアル、テキスタイル分野の製品を中心とした新製品開発を推進し、LED-UVハイブリッドプリンタの『VJ-1638UH』、ダイレクト捺染プリンタの『VJ-1938TX』、ハイグレード高速エコソルベントプリンタの『VJ-1938X』、高速昇華転写プリンタの『VJ-1948WX』の4機種と捺染顔料インク『TP11』、昇華転写インク『DH11』の2種類を発売いたしました。

3Dプリンタにおいては、業界初のエンジニアリングプラスチック素材に対応したデュアルヘッド熱溶解積層(FDM)方式のデスクトップ型3Dプリンタ『MF-2500EP』を新発売し、好評を得ております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は204億93百万円（前年同期比12.6%減）となり、営業利益は1億83百万円（前年同期比73.5%減）、経常利益は1億99百万円（前年同期比67.9%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は1億13百万円（前年同期は1億48百万円の利益）となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、当期の業績および今後の事業展開を勘案いたしまして、1株当たり3円50銭とさせていただきますと存じます。

次期に向けては、業績回復を目指して、成長市場をターゲットに積極的な施策を推進してまいります。皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 連結決算ハイライト

○売上高	第68期	<b>20,493</b>	百万円
	第65期	23,115	百万円
	第66期	23,475	百万円
	第67期	23,449	百万円
○営業利益	第68期	<b>183</b>	百万円
	第65期	1,630	百万円
	第66期	1,306	百万円
	第67期	689	百万円
○経常利益	第68期	<b>199</b>	百万円
	第65期	2,014	百万円
	第66期	1,354	百万円
	第67期	622	百万円
○親会社株主に帰属する 当期純損益	第68期	<b>113</b>	百万円
	第65期	2,399	百万円
	第66期	2,684	百万円
	第67期	148	百万円
○総資産額	第68期	<b>30,514</b>	百万円
	第65期	32,953	百万円
	第66期	32,027	百万円
	第67期	31,701	百万円
○純資産額	第68期	<b>23,484</b>	百万円
	第65期	21,446	百万円
	第66期	25,061	百万円
	第67期	23,917	百万円

## 当期事業別セグメント 売上高 (百万円)

情報画像関連機器事業 情報サービス事業  
設計計測機器事業・不動産賃貸事業  
ならびにその他の事業

・第68期 **20,493** 百万円



・第67期 **23,449** 百万円



・第66期 **23,475** 百万円



## 次期の 業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	単位: 百万円
連結業績予想	21,100	420	420	250	(平成29年5月19日公表値)

世界情勢は、欧州、中東、東アジア地域に広がる地政学リスクの影響など、先行き不安定な要素は払拭されておりましたが、経済は欧米を中心に緩やかな拡大傾向を示しております。

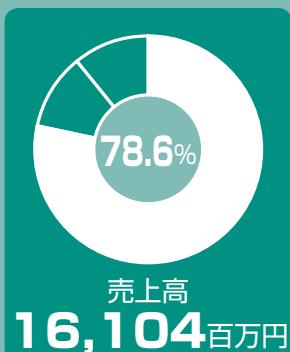
このような状況の中、当社グループでは、製品構成、ターゲット分野を見直し、成長分野への事業転換を加速します。主力の大判インクジェットプリンタ事業では、成長市場であるインダストリアル、テキスタイル分野へ大きくシフトし、販売活動については成長分野での拡大と高収益が期待できる欧米ならびに日本市場を中心に強化してまいります。

3Dプリンタ事業においては、コンシューマ向け製品から業務用製品へシフトし、より収益力の高い自社製品の販売強化を図ってまいります。

経費については、昨年度より検討を進めていました物流構造改革を実施し、抜本的なコスト削減に取り組みます。

## 事業セグメントの概況

### 情報画像関連 機器事業



アジア地域においては、中国をはじめとするアジア新興国での販売価格の下落、3Dプリンタ販売の一服感と低価格化の進行による影響から、売上高68億96百万円（前年同期比15.6%減）、セグメント損失4億29百万円（前年同期は98百万円の利益）となりました。

北米地域においては、為替の円高の影響により、売上高36億9百万円（前年同期比16.9%減）、セグメント利益2億57百万円（前年同期比43.5%減）となりました。

欧州地域においては、北欧での好調な販売を維持するものの、為替の円高による影響と地政学リスクの影響などにより、売上高55億98百万円（前年同期比14.9%減）、セグメント利益1億55百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

### 情報サービス 事業



情報サービス事業においては、CAD事業・システムソリューションサービス事業などの既存事業の販売を中心にほぼ前年並みに推移し、売上高21億71百万円（前年同期比0.4%増）となりました。10月に実施した国内子会社間の事業集約による経費削減等の合理化により、セグメント利益は1億64百万円（前年同期比191.0%増）となりました。

### 設計計測機器事業 不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



設計計測機器事業においては、設計製図機器及び光学式計測器等の製造販売を主体に堅調に推移しており、売上高15億46百万円（前年同期比2.3%増）となりました。10月に実施した国内子会社間の事業集約による経費削減等の合理化により、セグメント利益は1億49百万円（前年は13百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業においては、安定した稼働により堅調に推移し、売上高2億63百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益2億2百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

その他の事業においては、販売が若干減少し、売上高4億6百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント損失22百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

## リアルタイムにプリンタの状況が把握できる 『バリュージェットステータスマニタ(VSM)』



『VSM』は、MUTOHプリンタユーザーに提供する無料のアプリケーションソフト。ご使用のプリンタの状態をリアルタイムにパソコンやスマートフォン上で確認できます。MUTOHプリンタの性能を最大限に引き出し、お客様のワークフローを容易にします。

『VSM』にお手持ちのValueJetプリンタを登録していただくことで、[ステータスマニタ]、[レポートメール]、[カラーベリファイ]、[スマートフォンリンク]などのサービスがご利用いただけます。

『VSM』の機能のひとつであるバリュージェットプリントサーバ(VPS)は、高速作画で安定した印刷を提供します。

(注)『VSM』をダウンロードするには、『ValueJet Club』へのユーザ登録が必要です。  
<https://valuejetclub.mutoh.co.jp/mutoh/guser/>



## 『M-Draf』は進化を続けるCAD 『M-Draf Spirit 2017』をリリース

『M-Draf』シリーズは、最新のOSや技術革新によって進化し続け、汎用2次元CADの最新版『M-Draf Spirit 2017』をリリースしました。

### ◆オブジェクト指向の追求

構想設計時における時々の操作者の思考プロセスとシンクロできる操作体系を実現するために、「オブジェクト指向」のコマンド体系を採用しています。

### ◆最新JISに準拠した充実のコマンド

複雑化する最新のJISに準拠した図面を「正確にすばやく作成する」為の便利なコマンドをさらにパワーアップしています。

### ◆複雑な規制の自動判別／インテリジェントコマンド

複雑な製図通則に対応したインテリジェントコマンドを採用して、注記の結合や、引き出し線の伸縮、注記・寸法文字の配置などの操作を簡単に行う事が可能となりました。



## テーピング専用はさみ『PRO11T』& 圧迫用バンデージ『コンプレッションバンデージ』

### ◆テーピング専用はさみ『PRO11T』

先端が丸く、皮膚を傷つけずにテーピングを切ることが可能です。大きなフィンガーグリップで、切りやすく快適です。パワーロックスクリューでゆるみも軽減します。キネシオテープや伸縮テープをカットしても、粘着剤が刃に付きにくいコーティング加工を施しています。

### ◆圧迫用バンデージ『コンプレッションバンデージ』

「コンプレッションバンデージ」は、チューブタイプの圧迫用バンデージ。洗濯可能で経済的です。

筒状なので腕、ひじ、ひざ、ももなどお好きな長さにカットし、体の様々な部分に使用できます。圧迫だけではなく氷のうの保持などマルチな使い方が出来る便利グッズです。バンデージ幅は、用途に応じて約8.9cm、約10cm、約13cm、約15cmがあります。



【コンプレッションバンデージ】

## 最大作画速度 117.3m<sup>2</sup>/hを実現 昇華転写インクジェットプリンタ『VJ-1948WX』を発売

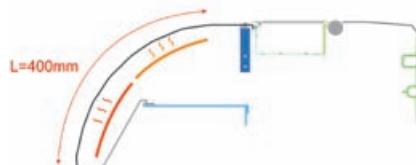
『VJ-1948WX』は、最大プリント幅1.9m（75インチ）に対応し、4個のプリントヘッドをスタガ配列にすることで、最高の作画スピードを実現。高い生産性と鮮やかな色彩を両立させた、新しい時代の昇華転写プリンタです。スカーフ、バナー、インテリア、アパレル、スポーツユニフォーム他、様々な用途に活用できます。

- ◆ 4個のプリントヘッドをスタガ配列にすることで、驚きの高速作画を実現。生産性が飛躍的に向上。最高作画速度117.3 m<sup>2</sup>/h\*を達成。（※4色360×720dpi 2パス）  
また、新たなカスタムモードを追加し、作画品質、速度の選択肢が大幅に拡大。
- ◆ フロントペーパーガイドの裏側に大型デュアルヒーターを内蔵。メディアを素早く乾燥させ、生産性が加速。ヒーターの温度は本体操作パネルから個別に設定。印字動作を中断させることなく、ヒーター温度の確認や変更も可能。
- ◆ 機能性の高いデザイン設計
  - \* 手動レバーによる加圧ローラダウン方式で、前面と背面のどちらからでも操作が簡単。加圧力は、メディアによって「標準」「強力」の2段階から選択可能。
  - \* 加圧ローラは、それぞれ個別に上げ下げすることができ、薄い転写紙でも、しわが寄らないように制御。
  - \* 重量送出し・巻取り装置を標準装備。100kgまでの安定したメディア搬送を実現。
- ◆ MUTOH純正昇華転写インクが、最適なプリントクオリティ、幅広い色域で、鮮やかな色彩を表現。使用目的や状況に応じて、4色（K,C,M,Y）と8色（K,C,M,Y,Lc,Lm,Lk,LLk）のいずれかを選択可能。また1000ml、2000mlの大容量インクパックに対応した新型インクホルダー（オプション）が、長時間の連続プリントをサポート。



昇華転写インクジェットプリンタ  
『VJ-1948WX』

### ヒーター断面図



\* 設定温度は、OFF/30℃～50℃



MUTOH純正昇華転写インク『DH11インク』

## 光造形3Dプリンタ『ML-48』 高速造形用樹脂『MR-HS11』を販売開始

DLP (Digital Light Processing) 方式のコンパクト光造形3Dプリンタ『ML-48』は、デザイン検証や試作、フィギュアなど、高精度が求められる様々な分野でご利用いただけます。

『ML-48』の造形性能を最大限に引き出すMUTOHオリジナル造形用樹脂。デザイン検証用、精密造形用、透明樹脂に加えて、新たに高速造形用『MR-HS11』の販売を開始しました。

オプションのブラックキャノピーを装着し、『MR-HS11』で造形することで、従来と比べ**5倍のスピード**で造形が可能となります。

【例：造形高さ45mmの場合】

高速造形	45分
従来品	3時間45分



造形サンプル

Value  
3D MagiX



光造形3Dプリンタ『ML-48』  
ブラックキャノピー装着時



高速造形用樹脂  
『MR-HS11』



## 「Wide Format & Signage Magazine」 “2017年 読者が選ぶTop Product Awards”を受賞

ValueJet



『VJ-1638UH』 <ハイブリッドプリンタカテゴリー>



『VJ-1938TX』 <テキスタイルプリンタカテゴリー>

2017年4月、大判デバイスの専門誌「Wide Format & Signage Magazine (以下、WFSマガジン)」(米国)が“2017年 読者が選ぶ Top Product Awards”を発表。2016年に販売を開始した大判インクジェットプリンタ『VJ-1638UH』(LED-UVプリンタ)が<ハイブリッドプリンタカテゴリー>で、『VJ-1938TX』(ダイレクト捺染プリンタ)が<テキスタイルプリンタカテゴリー>でそれぞれ受賞しました。この賞は、世界中の「WFSマガジン」読者、印刷サービスプロバイダ、業界および「WFSマガジン」の編集スタッフによって、150以上の製品が一連のカテゴリーにノミネートされ、「WFSマガジン」を通して、読者および顧客層からの投票により決定されます。今回の受賞は、MUTOH製品の品質が認められたことの証となるとともに、2機種の方後のさらなる販売拡大が期待されます。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産		18,689	19,645
現金及び預金		8,796	8,775
受取手形及び売掛金		4,020	4,570
たな卸資産		4,702	4,948
その他		1,170	1,352
固定資産		11,824	12,055
有形固定資産		8,578	8,867
無形固定資産		272	299
投資その他の資産		2,973	2,889
投資有価証券		2,205	2,150
その他		767	739
資産合計		30,514	31,701

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
<b>負債の部</b>			
流動負債		4,850	5,438
支払手形及び買掛金		2,817	3,253
その他		2,032	2,185
固定負債		2,180	2,345
退職給付に係る負債		1,750	1,925
その他		430	419
負債合計		7,030	7,783
<b>純資産の部</b>			
株主資本		24,591	25,030
資本金		10,199	10,199
資本剰余金		4,182	4,182
利益剰余金		12,558	12,993
自己株式		△ 2,348	△ 2,344
その他の包括利益累計額		△ 1,928	△ 1,912
非支配株主持分		820	800
純資産合計		23,484	23,917
負債・純資産合計		30,514	31,701

## ■ 連結株主資本等変動計算書

当期（自平成28年4月1日 至平成29年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成28年4月1日残高	10,199	4,182	12,993	△ 2,344	25,030	△ 1,912	800	23,917
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 321		△ 321			△ 321
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△ 113		△ 113			△ 113
自己株式の取得				△ 3	△ 3			△ 3
自己株式の処分		△ 0		0	0			0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△ 15	20	4
連結会計年度中の変動額合計	-	△ 0	△ 434	△ 3	△ 438	△ 15	20	△ 433
平成29年3月31日残高	10,199	4,182	12,558	△ 2,348	24,591	△ 1,928	820	23,484

## ■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高		20,493	23,449
営業利益		183	689
経常利益		199	622
税金等調整前当期純利益		102	736
親会社株主に帰属する当期純損益		△ 113	148

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

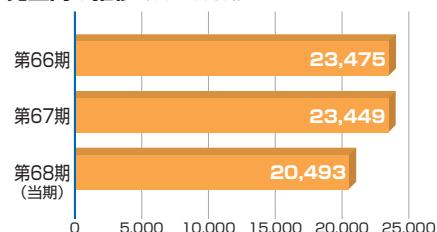
科目	期別	当期	前期
		自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		797	2,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 246	△ 1,599
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 394	△ 392
現金及び現金同等物の増減額		36	△ 77
現金及び現金同等物の期首残高		8,519	8,597
現金及び現金同等物の期末残高		8,556	8,519

## ■事業セグメントにおける連結会社

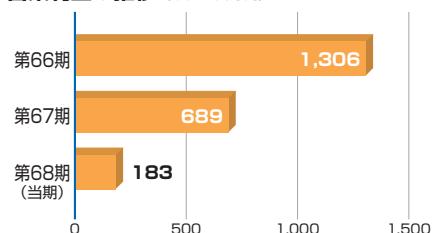
事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーベルギー社・ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・武藤工業香港有限公司・ムトosingapore社・ムトーオーストラリア社・(株)ムトーエンジニアリング
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーフィギュアワールド・武藤工業(株)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンジニアリング・武藤工業(株)・(株)ムトーエンタープライズ

(注) 武藤工業香港有限公司 (MUTOH HONG KONG LIMITED) としての営業活動は、平成28年9月30日をもって終了し、その後は武藤工業(株)からの販売に引き継いでおります。

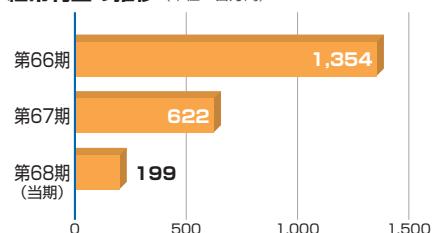
## 売上高の推移 (単位：百万円)



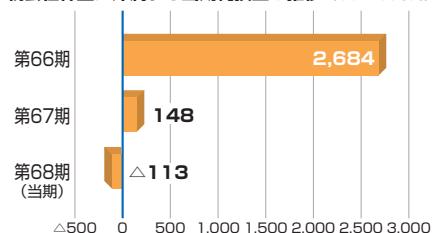
## 営業利益の推移 (単位：百万円)



## 経常利益の推移 (単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純損益の推移 (単位：百万円)



## 会社の概要 (平成29年6月29日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社  
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)

設立 1952年(昭和27年)3月5日  
(創業:1942年(昭和17年)12月)

資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号  
TEL:03-6758-7100(代)

主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理

ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp>

## MUTOHグループ会社



## 役員 (平成29年6月29日現在)

取締役会長	坂本俊弘	取締役	高山允伯	取締役監査等委員	立沢肇
代表取締役社長	早川信正	取締役	高山芳之	取締役監査等委員	山田一寛
取締役	鴨居和之	取締役	小林裕輔	取締役監査等委員	飛田博

# 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

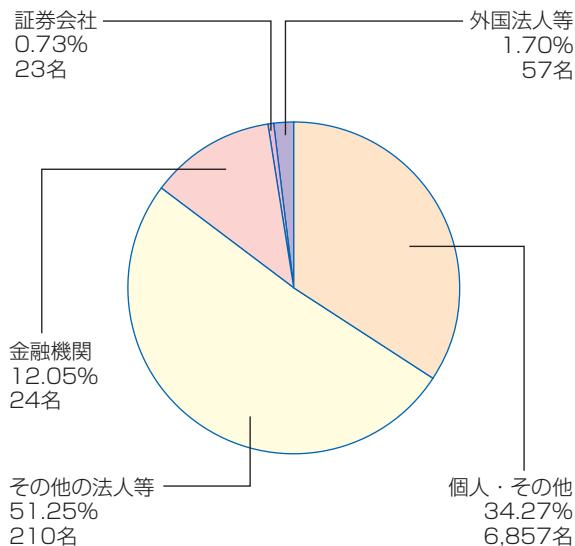
■ 発行可能株式総数	170,000,000株
■ 発行済株式総数	54,818,180株
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 株主数	7,171名

## ■ 大株主の状況

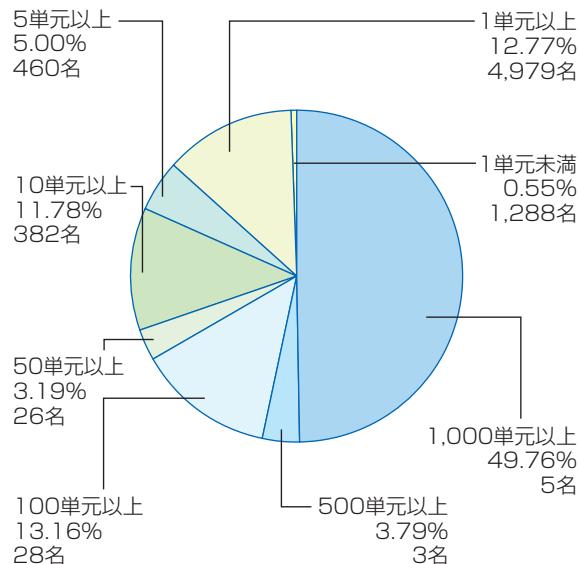
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,220,000	28.82
株式会社みずほ銀行	2,071,399	4.52
武藤栄次	1,580,586	3.45
三井住友信託銀行株式会社	1,457,000	3.18
ユニシステム株式会社	923,000	2.01
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	719,000	1.57
堀啓一	591,000	1.29
ハイテクシステム株式会社	561,000	1.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	481,000	1.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	473,000	1.03

(注) 1. 当社は自己株式8,949,833株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ◆所有者別分布状況



## ◆所有株式数別分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金  
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金  
受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載  
<http://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

## ご注意

### 1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 3. 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

